

* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイコン 景況調査



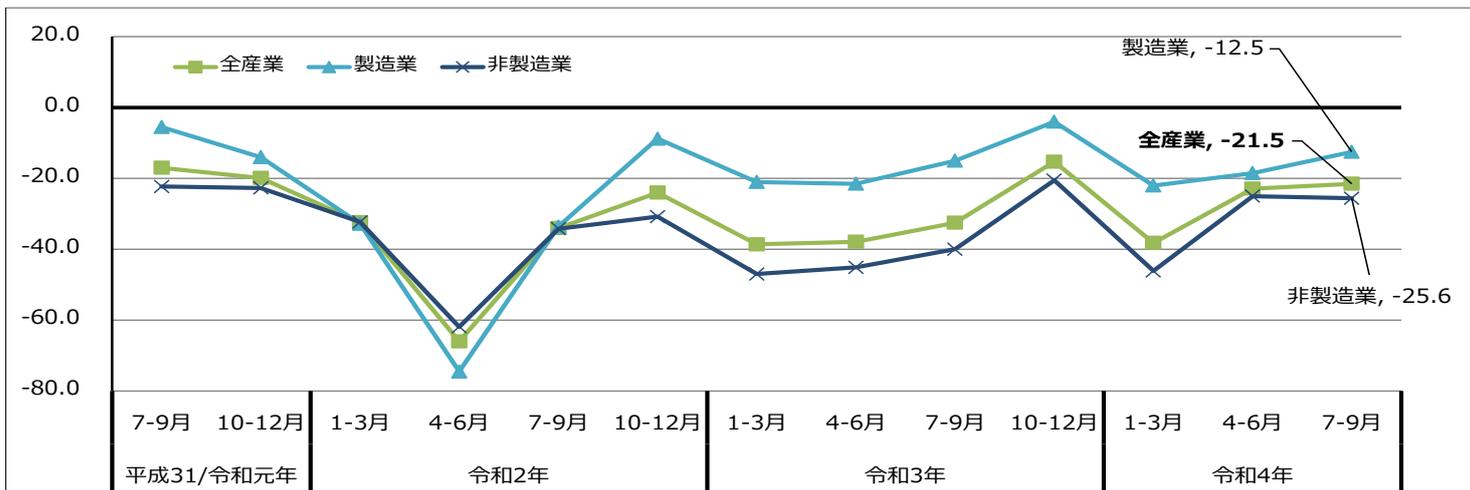
業況判断 DI はマイナス圏内も、緩やかに持ち直し傾向。

- ◆ **売上高等は小幅ながら改善** …… 出荷額・売上高等DIは全産業、製造業で改善。非製造業は悪化。
- ◆ **収益は苦しい状況続く** …… 前回改善の全産業、非製造業で悪化。製造業では改善。
- ◆ **仕入価格は依然高水準** …… 全産業で低下したものの、高水準は続く。

◆ 業況判断（前期比）注（ ）内は前回調査との差を示します。

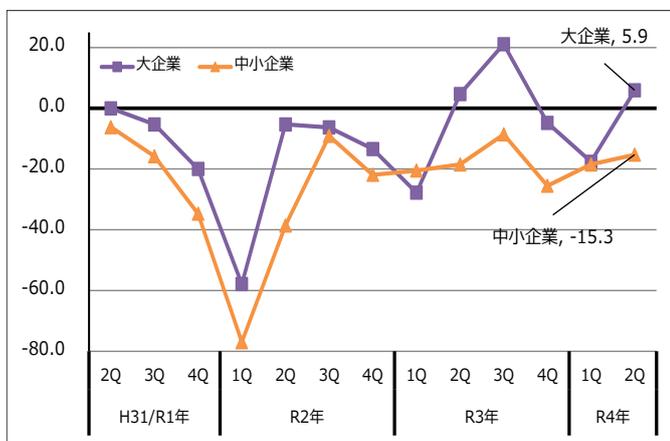
<全体>

業況判断 DI は、▲21.5（+1.4）で改善しました。産業別では、【製造業】は▲12.5（+6.0）で改善、【非製造業】は▲25.6（-0.6）で、横ばいとなりました。



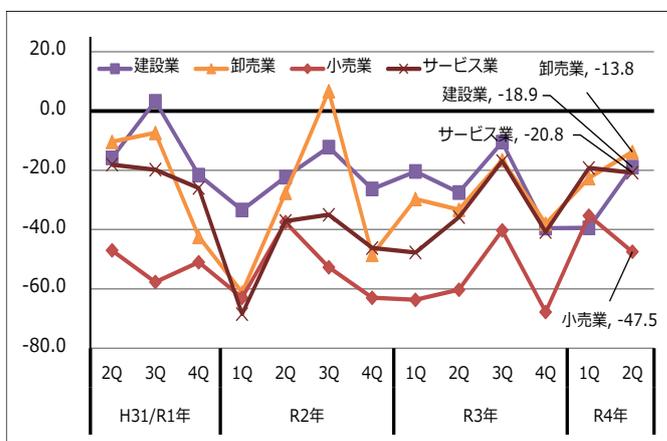
<製造業（規模別）>

【大企業】は 5.9（+23.5）で大幅に改善、【中小企業】でも▲15.3（+3.2）で改善しました。



<非製造業（業種別）>

【建設業】で▲18.9（+20.5）で大幅に改善、【卸売業】で▲13.8（+8.8）で改善しました。【小売業】、【サービス業】は悪化しました。



DI とは

景気動向指数「デフュージョン・インデックス（Diffusion Index）」の略。「好転」（または「上昇」「増加」「過剰」と）回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」と）回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を図るための指標です。

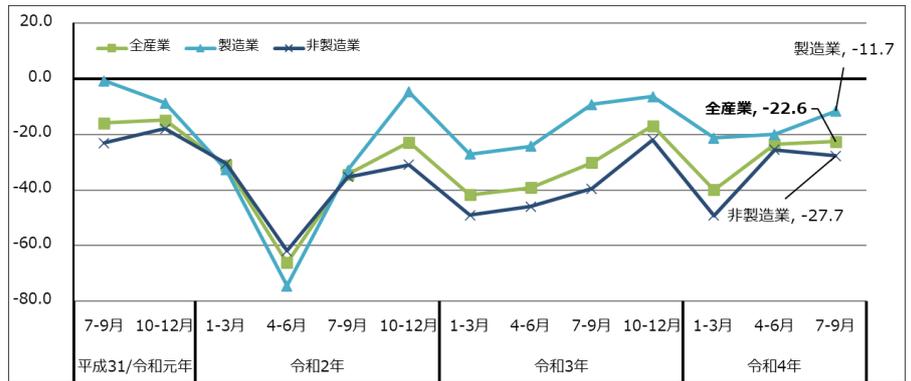
◆業界天気図



業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差									

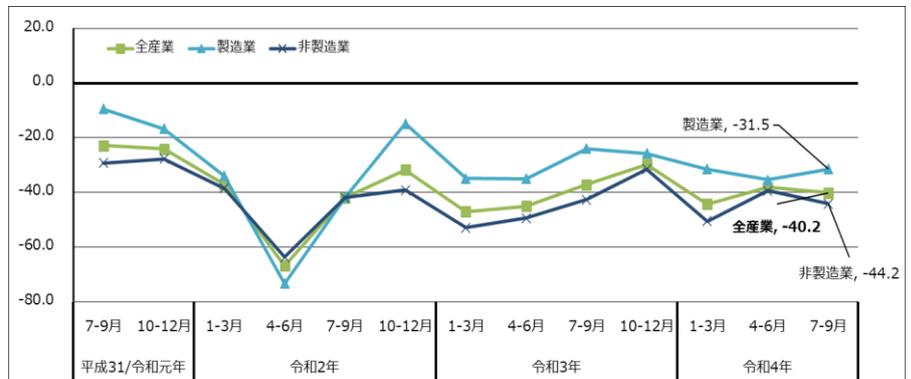
◆出荷額・売上高・完成工事高

- 出荷額・売上高・完成工事高 DI は、▲22.6 (+1.0) で、改善しました。
- 【製造業】では、改善、【非製造業】では、悪化となりました。全体としては小幅ながら改善傾向ですが、依然として上昇と回答した企業の割合より、下降と回答した企業の割合が高い状況が続きます。



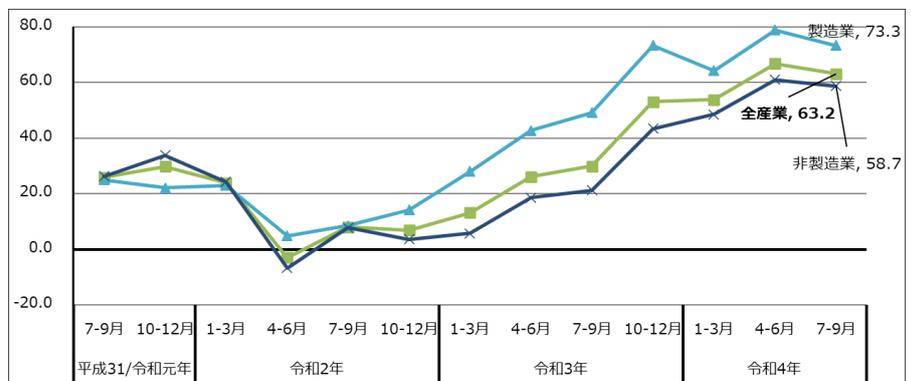
◆収益 (前期比)

- 収益 (前期比) DI は、収益が前期より「好転」したか「悪化」したかを示すものです。全産業で▲40.2 (-2.1) で悪化しました。
- 【製造業】では、▲31.5 (+3.9) で改善しましたが、【非製造業】では、▲44.2 (-4.8) で悪化しました。



◆仕入価格

- 原材料仕入れ価格 DI は、63.2 (-3.6) で下落しました。
- 【製造業】では、73.3 (-5.6)、【非製造業】では、58.7 (-2.3) と下落しました。【建設業】は68.4 (+10.8) と上昇しましたが、その他業種はいずれも下落しています。



<本資料の問い合わせ先>

■ 尼崎市 経済環境局 経済活性化課

担当: 田枝・西岡

連絡先: 06-6489-6670

■ (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室

担当: 藤野・宮崎

連絡先: 06-6488-9501 (代)

<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>